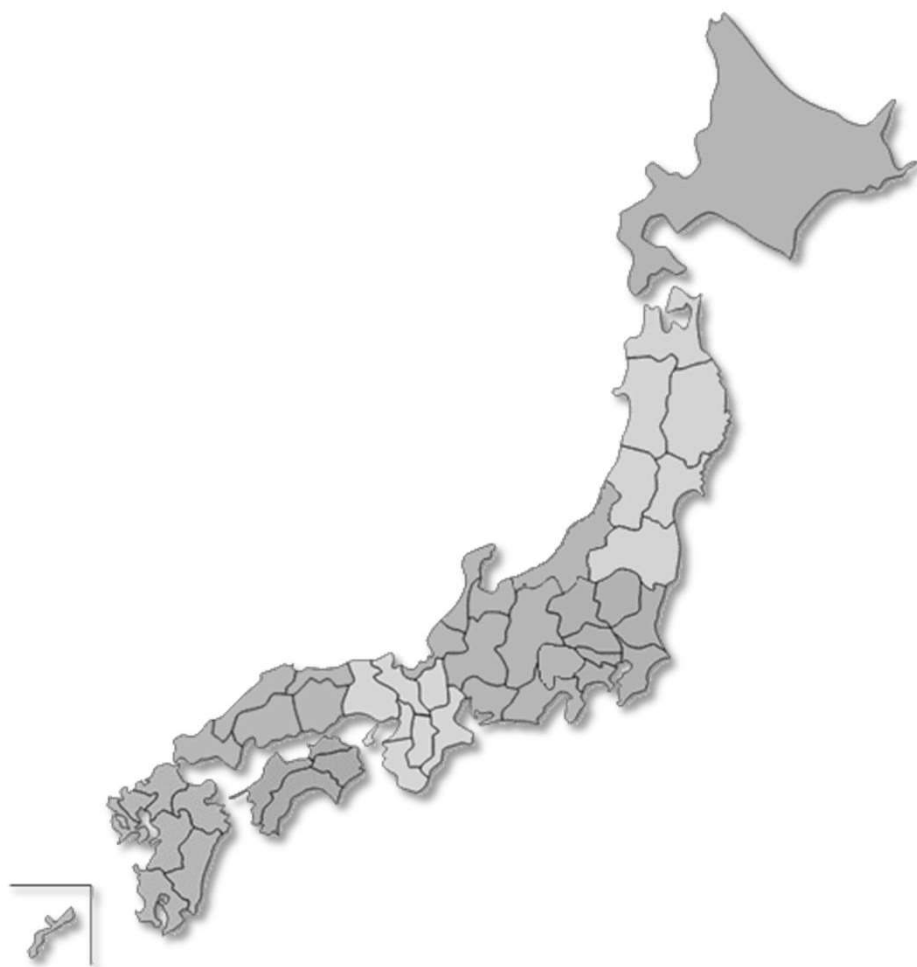


2021年度版

全国の山村留学実態調査報告書



NPO法人 全国山村留学協会

本調査でいう「山村留学」とは、山村留学だけでなく、その他の義務教育期間中の日本国内における留学制度全般を指します。これらの総称を、表記上、山村留学とします。
なお、同一行政区内での学区域外通学はこれに含みません。

【本調査の概要】

本調査は主に山村留学実施地域を対象としており、昭和51年度より継続して実施しているものです。尚、現在の対象となる地域は、平成12年度文部科学省委嘱事業「山村留学と国内ホームステイ等の実態についての調査研究」を元に、毎年更新して決定しています。
2021年度のアンケート配布地域数及び有効回答数は以下の通りです。

小学校・・・配布数102校(有効回答数91校、無回答等11校)
中学校・・・配布数59校(有効回答数56校、無回答等3校)

※無回答等は本調査内容には含まれていません。

【都道府県の地方区分について】

本調査では、一般的な八地方区分を採用しています。

北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	三重県、滋賀県、奈良県、和歌山県、京都府、大阪府、兵庫県
中国	岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県
四国	香川県、徳島県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

【本文中の表記について】

本文中では、山村留学の居住形態別に以下の分類及び表記を行っています。

ホームステイ方式	年間を通して主にホームステイ宅で生活をするもの
寮方式	年間を通して主に寮で生活をするもの
併用方式	年間を通して、ホームステイ及び寮での生活を同数程度行うもの
家族方式	留学生本人だけでなく家族等と移住するもの

山村留学データバンク

2021年度の参加者数は、前年度に比べて併用方式が17人、家族方式が12人と増加した一方で、寮方式とホームステイ方式については、前者が14人、後者が3人の減少となりました。寮方式の減少は、集団生活という性質上、コロナ禍での積極的な受け入れが実施されなかったことも要因と考えられるため、状況が落ち着けば増加に転じる可能性があります。ホームステイ方式については受け入れ地域の高齢化により、今後も減少傾向になることが予想されます。また、定住促進の観点から、家族方式はここ数年増加傾向にあります。

ただいずれの方式も、参加者を確保するためには、充実した事業内容を構築できるかが鍵となるでしょう。

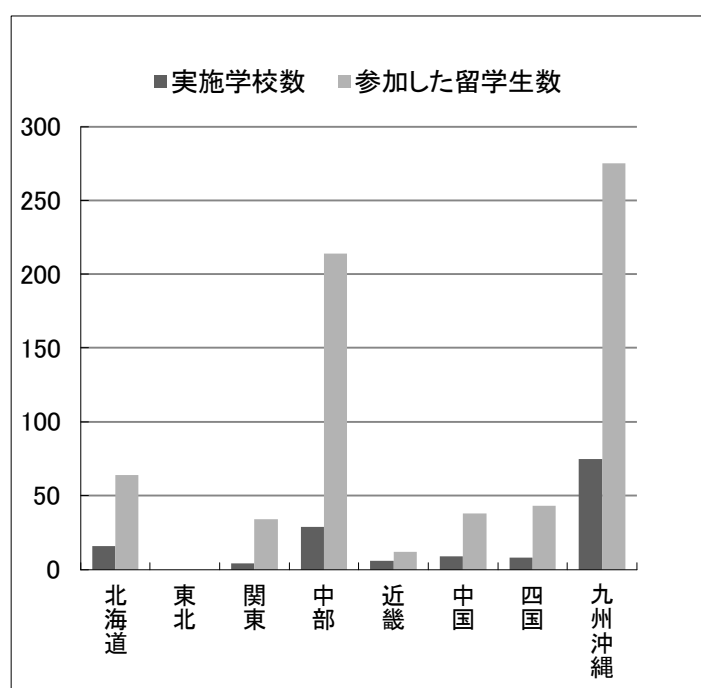
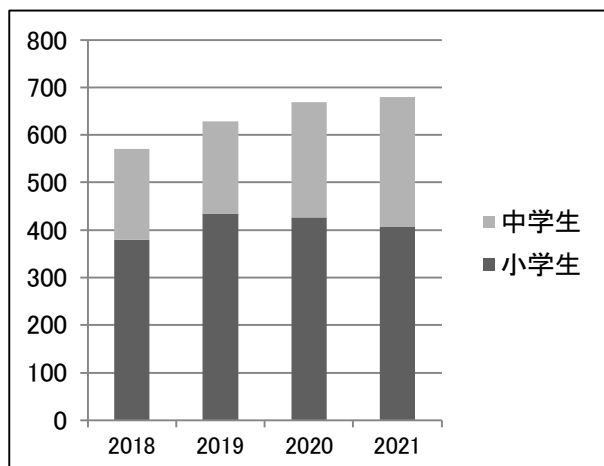
○実施都道府県	21道府県	(留学生受け入れ19、受け入れなし2)
○実施自治体	63市町村	(留学生受け入れ54、受け入れなし9)
○小学校	91校	(留学生受け入れ79、受け入れなし12)
○中学校	56校	(留学生受け入れ45、受け入れなし11)
○小学生参加者	406人	(新規参加者225人、継続参加者181人)
○中学生参加者	274人	(新規参加者109人、継続参加者165人)
○参加者累計(1976年度～2021年度延べ人数)	22,686人	
○山村留学体験者数(新規参加者のみの累計)	13,324人	

▽地域別の山村留学実施校と受け入れ人数

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州沖縄	全体
受け入れた小学校	8	0	2	16	3	4	3	43	79
受け入れた中学校	3	0	2	10	1	4	3	22	45
受け入れなかった小学校	2	0	0	1	1	1	1	6	12
受け入れなかった中学校	3	0	0	2	1	0	1	4	11
実施学校数	16	0	4	29	6	9	8	75	147
参加した小学生	45	0	21	131	11	15	14	169	406
参加した中学生	19	0	13	83	1	23	29	106	274
参加した留学生数	64	0	34	214	12	38	43	275	680
受入校あたりの参加者数	4.0	0.0	8.5	7.4	2.0	4.2	5.4	3.7	4.6

▽小中学生別参加者数の推移(2018～2021)

	2018	2019	2020	2021
小学生	380	434	427	406
中学生	190	194	241	274
合計	570	628	668	680



全国の実施状況(自治体名、学校名、留学生数) NO.1

Aは親元を離れた山村留学生数(ホームステイ、寮、併用):Bは家族で転居した山村留学生数(家族):無記入は受け入れなし 単位(人)

北海道		A	B
雄武町	共栄小		
鹿追町	瓜幕小	6	10
	瓜幕中	6	3
新得町	富村牛小		6
	富村牛中		
東神楽町	志比内小		7
美深町	仁宇布小		8
	仁宇布中	5	1
平取町	振内小		1
	振内中		
芽室町	上美生小	1	2
	上美生中	3	1
中頓別町	中頓別小		1
	中頓別中		
幌加内町	朱鞠内小		
中札内村	上札内小	0	3
合 計		21	43

群馬県		A	B
上野村	上野小	10	
	上野中	2	
高崎市	倉渕小	11	
	倉渕中	11	
合 計		34	0

新潟県		A	B
粟島浦村	粟島浦小	4	
	粟島浦中	16	
合 計		20	0

富山県		A	B
南砺市	利賀小	6	
	利賀中	5	
合 計		11	0

山梨県		A	B
早川町	早川南小		4
	早川北小		6
	早川中		6
丹波山村	丹波小		7
	丹波中		9
小菅村	小菅小		16
	小菅中		7
合 計		0	55

長野県		A	B
阿智村	浪合小	13	
阿南町	和合小		9
売木村	売木小	7	
	売木中	5	
大鹿村	大鹿小		2
	大鹿中		
大田市	八坂小	10	
	美麻小	6	
	八坂中	8	
	美麻中	7	
北相木村	北相木小	19	9
長野市	大岡小	5	
	大岡中	9	
南相木村	南相木小		1
泰阜村	泰阜小	7	
	泰阜中	11	
合 計		107	21

岐阜県		A	B
七宗町	神渕小		
	神渕中		
合 計		0	0

三重県		A	B
鳥羽市	答志小		
	答志中	1	
松阪市	香肌小		3
合 計		1	3

京都府		A	B
南丹市	美山小	7	
合 計		7	0

奈良県		A	B
野迫川村	野迫川小		1
	野迫川中		
合 計		0	1

島根県		A	B
大田市	北三瓶小	3	
	北三瓶中	12	
海士町	海士小		1
	福井小		2
	海士中		1
知夫村	知夫小		
	知夫中	6	
合 計		21	4

山口県		A	B
岩国市	本郷小	9	
	本郷中	4	
合 計		13	0

徳島県		A	B
美波町	伊座利小		
	由岐中伊座利分校		
合 計		0	0

愛媛県		A	B
砥部町	広田小	10	
合 計		10	0

高知県		A	B
いの町	本川中	15	
馬路村	魚梁瀬小		3
	魚梁瀬中		3
大川村	大川小	1	
	大川中	11	
合 計		27	6

全国の実施状況(自治体名、学校名、留学生数) NO.2

Aは親元を離れた山村留学生数(ホームステイ、寮、併用):Bは家族で転居した山村留学生数(家族):無記入は受け入れなし 単位(人)

福岡県		A	B
宗像市	地島小	5	
八女市	星野小	7	
合計		12	0

佐賀県		A	B
嬉野市	大野原小		1
	大野原中		
合計		0	1

長崎県		A	B
小値賀町	小値賀小		
	小値賀中	3	
五島市	久賀小	5	1
	久賀中	7	2
	奈留中	3	3
	奈留小		
新上五島町	北魚目小	3	
	奈良尾中		1
合計		21	7

宮崎県		A	B
西都市	銀上小	5	2
	銀鏡中	8	2
合計		13	4

鹿児島県		A	B
始良市	漆小		
伊佐市	南永小		
宇検村	名柄小		1
	名柄中		2
	阿室小		5
	阿室中		1
霧島市	永水小		2
薩摩川内市	鹿島小	9	2
瀬戸内町	与路小	3	
	与路中		
	薩川小		1
	西阿室小		3
	伊子茂小		1
	伊子茂中		13
	池地小		1
	諸鈍中		1
	嘉鉄小		6
	篠川小		3
	篠川中		1
十島村	平島小	3	
	平島中	4	3
	悪石島小		1
	悪石島中	3	1
	小宝島小		1
	小宝島中		3
	宝島小		5
	宝島中		3
	中之島小		2
	中之島中		
	口之島小		5
	口之島中		2
	諏訪之瀬島小		3
	諏訪之瀬島中		6
中種子町	岩岡小		6
	星原小		1

鹿児島県		A	B
西之表市	上西小		
	国上小	1	2
	伊関小	4	2
	安納小	2	3
	安城小		1
	現和小	2	2
	古田小	2	
	住吉小		2
三島村	三島硫黄島学園小	1	
	三島硫黄島学園中	10	1
	三島大里学園小	4	
	三島大里学園中	4	
	三島片泊学園中	2	
南種子町	荃南小	8	3
	西野小	4	4
	大川小	5	3
	島間小		7
	平山小		3
	花峰小		4
	長谷小	4	2
	南種子中	2	2
与論町	与論中		
合計		113	90

沖縄県		A	B
渡嘉敷村	渡嘉敷小		
	渡嘉敷中	5	
南城市	久高小	1	
	久高中	8	
合計		14	0

居住形態別データ



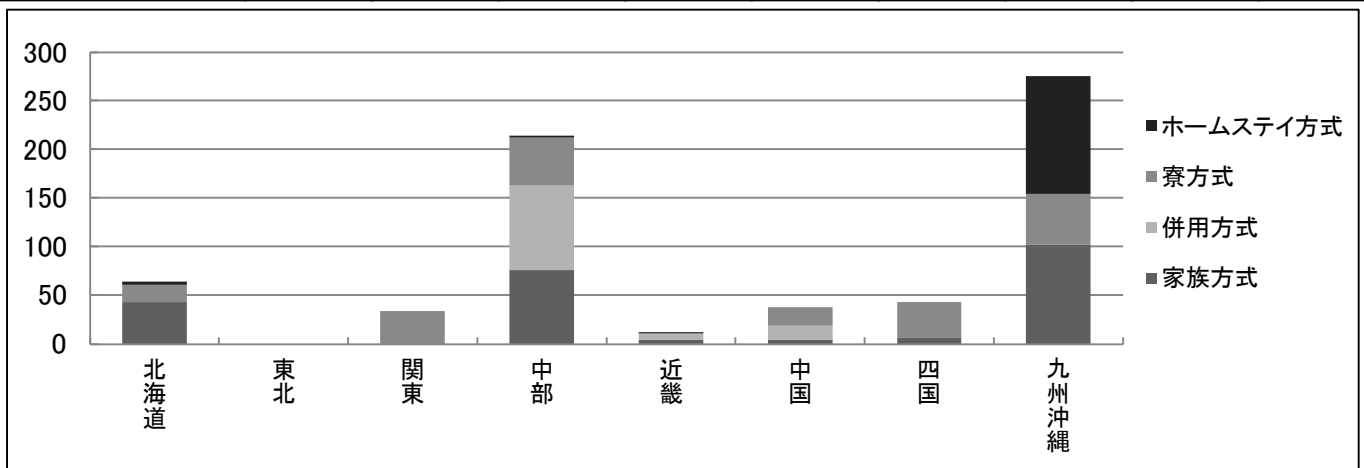
居住形態別の参加者数をみると、ホームステイ方式は九州沖縄地区が大きな割合を占めています。この地域では離島の小規模校が少数単位で参加者を受け入れていることが多いため、導入のしやすいホームステイ方式や家族方式が多いと考えられます。

以前は北海道や他地域でもホームステイ方式は多くみられましたが、最近では高齢化によって受け入れ先が確保できず、保護者同伴の家族方式への移行や事業中止となるケースもみられます。

一方、併用方式や寮方式は、導入時の施設準備等費用はかかりますが、一定数の参加者を確保し安定した事業運営がなされている地域が多くあります。そのため、今後山村留学に取り組む自治体については、寮、併用、家族の3方式が多くなると予想されます。

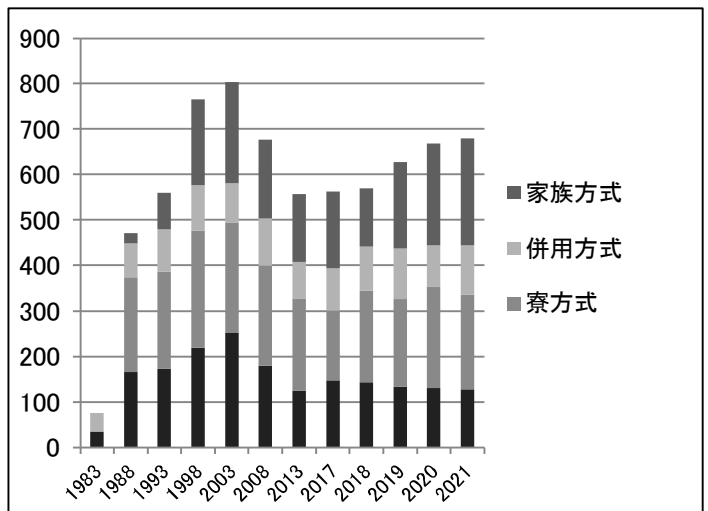
▽居住形態別の地域別参加者数

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州沖縄	全体
ホームステイ方式	3	0	0	2	1	0	0	121	127
寮方式	18	0	34	49	0	19	37	52	209
併用方式	0	0	0	87	7	15	0	0	109
家族方式	43	0	0	76	4	4	6	102	235
合計	64	0	34	214	12	38	43	275	680



▽居住形態別参加者数の推移(1983~2021)

	ホームステイ方式	寮方式	併用方式	家族方式
1983	35	0	40	0
1988	166	208	75	22
1993	172	215	93	80
1998	219	258	99	190
2003	251	243	87	223
2008	180	219	105	173
2013	125	202	81	149
2017	147	154	93	168
2018	143	201	98	128
2019	133	193	112	190
2020	130	223	92	223
2021	127	209	109	235



ホームステイ方式は九州沖縄地区だけで約95%、併用方式は中部・中国地区で約94%、寮方式は東北・近畿地区を除く全国に分散しています。また、家族方式は北海道・中部・九州沖縄地区で約94%を占めています。

最近では寮と家族等、複数の方式を導入する地域も増えており、定住促進を図る狙いがあるものと考えられます。

学年別・男女別データ

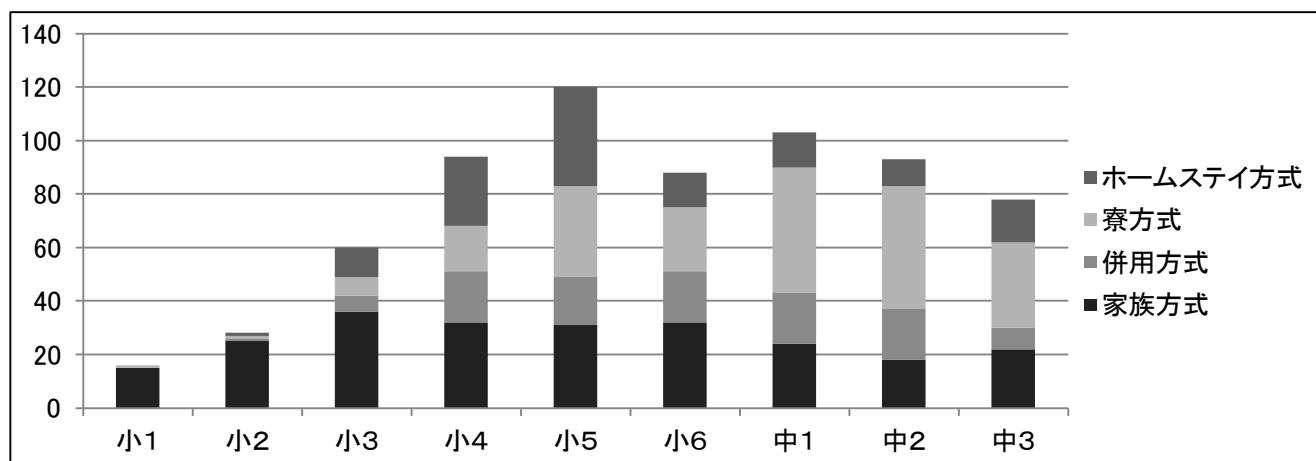


学年別では、小学生が406人(約60%)、中学生が274人(約40%)となっており、前年度に続いて中学生の割合が約4%増加しました。また、最も人数が多い学年は小5(120人)で変わりありませんが、小6が22人減少し、中1が33人増加しました。

家族方式では小学生の割合が高く(約73%)、寮方式では中学生が多くを占めています(約60%)。寮方式では集団生活においてある程度の自立が求められる一方、保護者同伴である家族方式ではそういった条件が緩和されるためと考えられ、実際、全方式の小1～小3(104人)の中で、家族方式が占める割合は約73%という結果になっています。

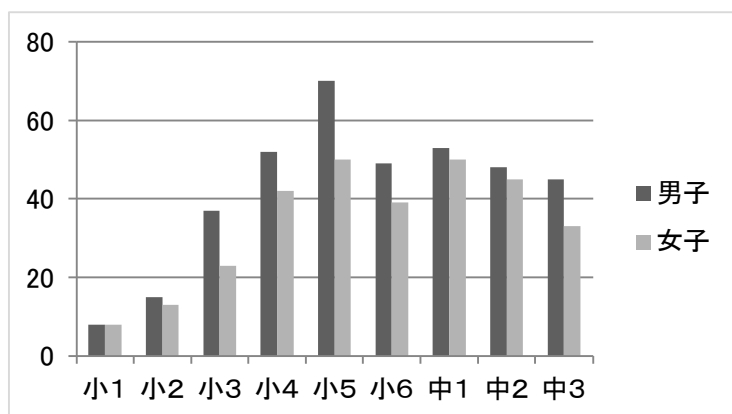
▽居住形態別の学年別参加者数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
ホームステイ方式	0	1	11	26	37	13	13	10	16	127
寮方式	1	1	7	17	34	24	47	46	32	209
併用方式	0	1	6	19	18	19	19	19	8	109
家族方式	15	25	36	32	31	32	24	18	22	235
合計	16	28	60	94	120	88	103	93	78	680



▽学年別の男女別参加者数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
男子	8	15	37	52	70	49	53	48	45	377
女子	8	13	23	42	50	39	50	45	33	303
合計	16	28	60	94	120	88	103	93	78	680



全体では男子377人(約55%)、女子303人(約45%)となり、男女比はここ数年の傾向とあまり変わりありません。また前年度より、男子は19人増、女子は7人減となっています。

ただ、小中別の増減をみてみると、男子は小学生が1人減に対して、中学生は20人増となっており、一方女子は、小学生が20人減なのに対して中学生は13人増と、男女で異なる傾向となりました。

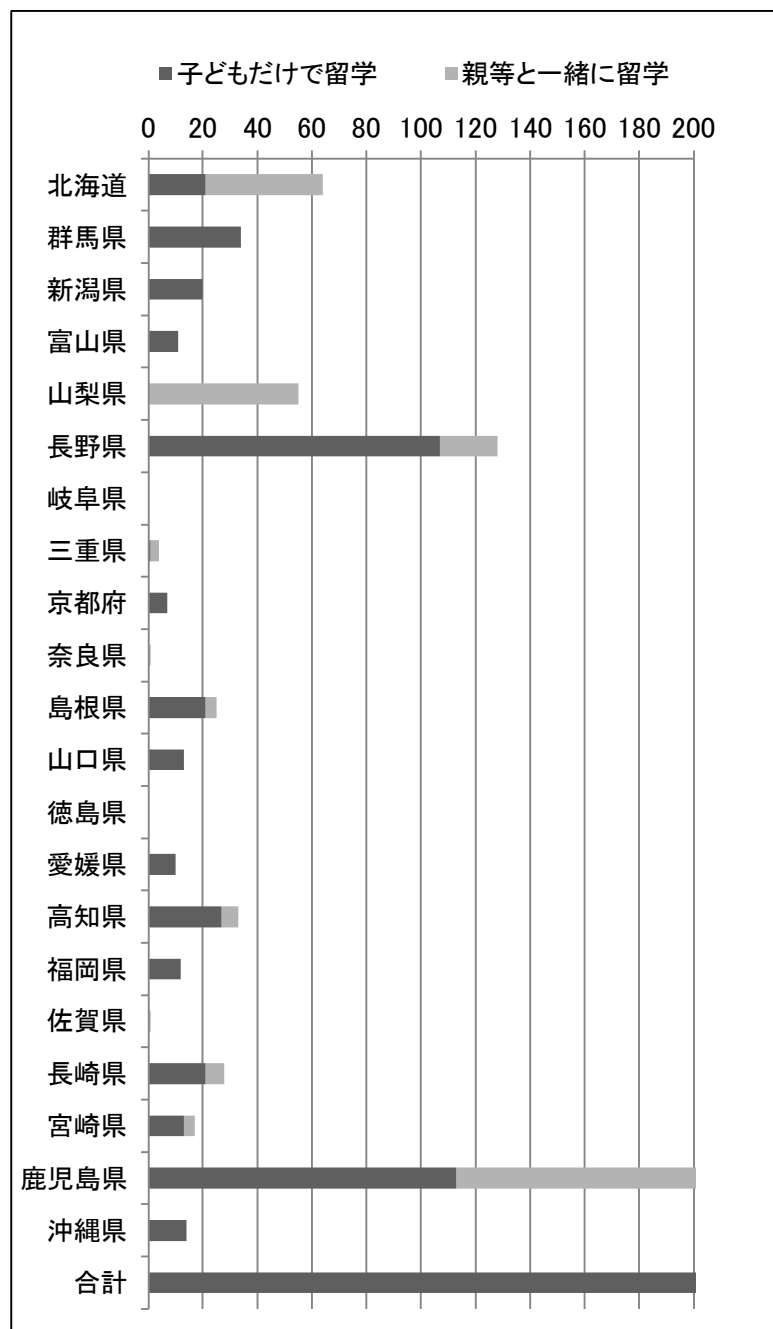
都道府県別の山村留学受け入れ人数

- 2021年度の山村留学参加者数は680人で、うち子どもだけで留学した参加者数は445人(約65%)、親等と一緒に留学した参加者数は235人(約35%)です。
- 受け入れ人数が多い都道府県は、鹿児島県(203人、9人増)、長野県(128人、10人増)、北海道(64人、4人増)、山梨県(55人、4人減)です。
- 子どもだけで留学した参加者数が多いのは、鹿児島県(113人、9人増)、長野県(107人、1人減)のほか、群馬県や高知県、北海道、島根県、長崎県などが多くなっています。
- 親等と一緒に留学した参加者数が多いのは、鹿児島県(90人、増減なし)、山梨県(55人、4人減)、北海道(43人、4人増)などで、三県で約80%を占めています。

※人数比較は前年度と比べた数字

▽都道府県別の留学生受け入れ人数

	子どもだけで留学	親等と一緒に留学	合計
北海道	21	43	64
群馬県	34	0	34
新潟県	20	0	20
富山県	11	0	11
山梨県	0	55	55
長野県	107	21	128
岐阜県	0	0	0
三重県	1	3	4
京都府	7	0	7
奈良県	0	1	1
島根県	21	4	25
山口県	13	0	13
徳島県	0	0	0
愛媛県	10	0	10
高知県	27	6	33
福岡県	12	0	12
佐賀県	0	1	1
長崎県	21	7	28
宮崎県	13	4	17
鹿児島県	113	90	203
沖縄県	14	0	14
合計	445	235	680



46年間の山村留学参加者数の推移

1976年度(昭和51)に長野県八坂村(現大町市)で日本初の山村留学が実施されて以後、46年間の参加者数の推移です。一時は900人に迫った参加者数も、自治体合併やホームステイ先の高齢化、地元児童生徒数の減少、学校統廃合等により減少に転じました。しかしながら、ここ数年は増加傾向に転じ、2021年度は680人と、ほぼ2007年度の水準まで戻りつつあります。

ピーク時に比べて受け入れ校は減少していますが、新設されたり、実績ある地域に安定的に参加者が集まっていること、そして家族方式の導入による定住促進や寮方式による大規模受け入れ等が増加傾向に繋がったと考えられます。

▽山村留学参加者数の推移

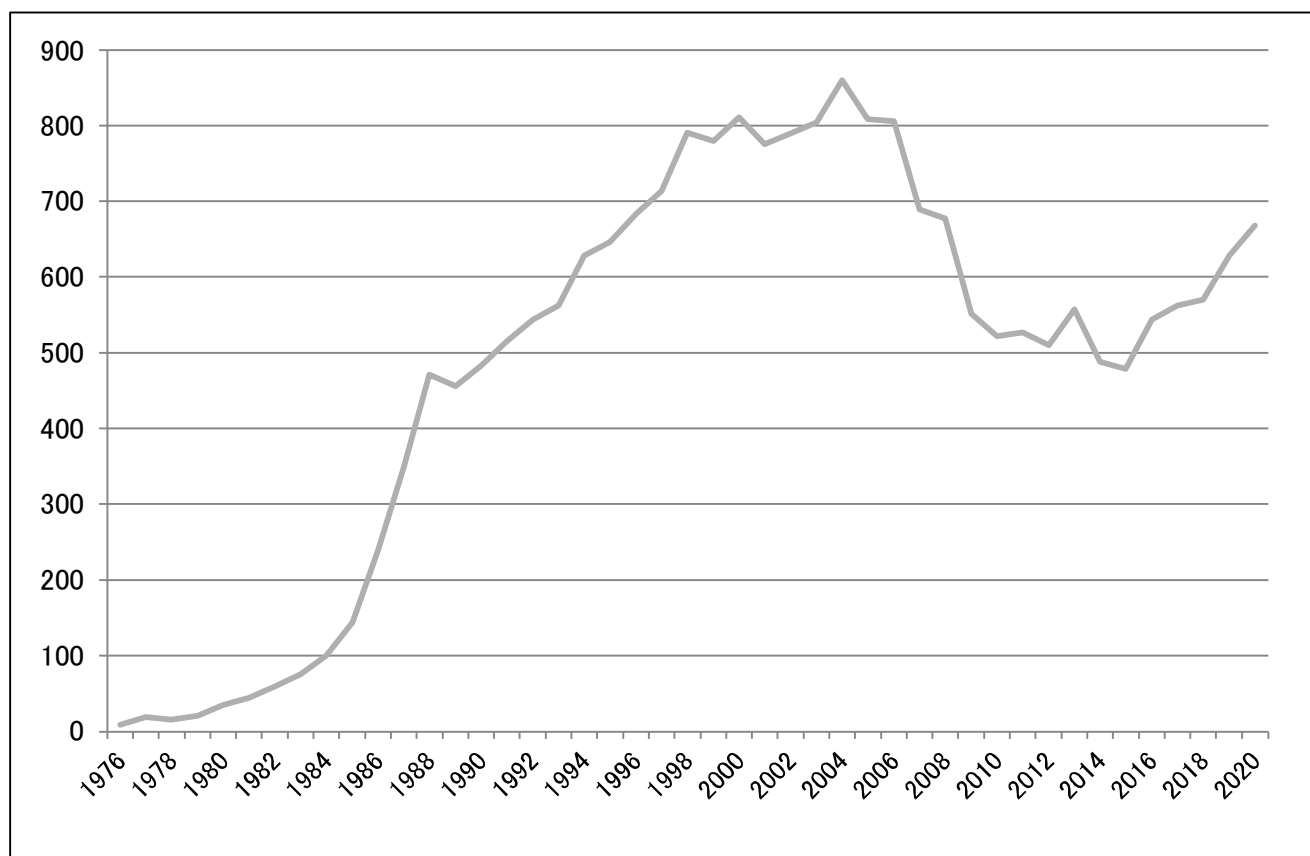
年度	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
参加者数	9	19	15	20	35	44	59	75	100	144

年度	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
参加者数	239	348	471	456	483	515	544	562	628	646

年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
参加者数	683	714	791	780	811	775	790	804	860	808

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
参加者数	806	689	677	551	522	527	510	557	488	479

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021				
参加者数	544	562	570	628	668	680				



46年間の山村留学実施校の推移

山村留学実施校は1985年度頃から増加し、2003年度にピークをむかえましたが、同時に、開設しても留学生在が確保できない受け入れなし校も一定水準みられるようになってきました。

また、2005年度頃には、学校統廃合や自治体合併等の影響により制度を中止する学校が多くなり、その後も減少傾向となっていました。2016年度頃から新たに参入するケースもみられ、ここ数年はゆるやかな微増傾向にあります。

▽受け入れ校数と受け入れなし校数の推移

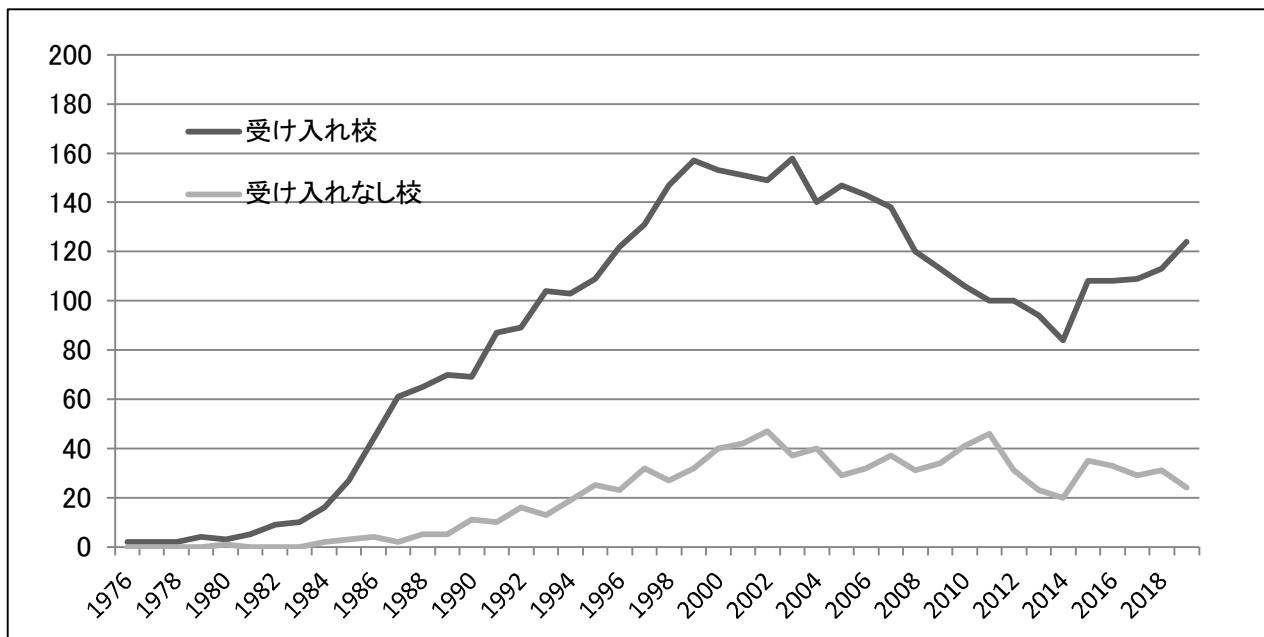
年度	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985
受け入れ校	2	2	2	2	4	3	5	9	10	16
受け入れなし校	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
合計	2	2	2	2	4	4	5	9	10	18

年度	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
受け入れ校	27	44	61	65	70	69	87	89	104	103
受け入れなし校	3	4	2	5	5	11	10	16	13	19
合計	30	48	63	70	75	80	97	105	117	122

年度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
受け入れ校	109	122	131	147	157	153	151	149	158	140
受け入れなし校	25	23	32	27	32	40	42	47	37	40
合計	134	145	163	174	189	193	193	196	195	180

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
受け入れ校	147	143	138	120	113	106	100	100	94	84
受け入れなし校	29	32	37	31	34	41	46	31	23	20
合計	176	175	175	151	147	147	146	131	117	104

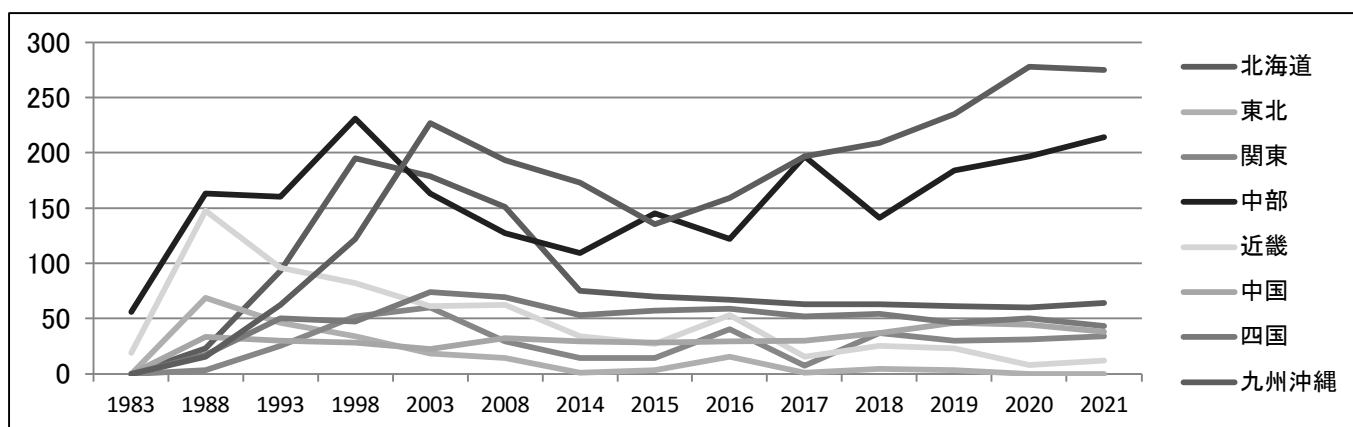
年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021				
受け入れ校	108	108	109	113	124	124				
受け入れなし校	35	33	29	31	24	23				
合計	143	141	138	144	148	147				



46年間の参加者数の推移(受け入れ地域別・居住形態別)

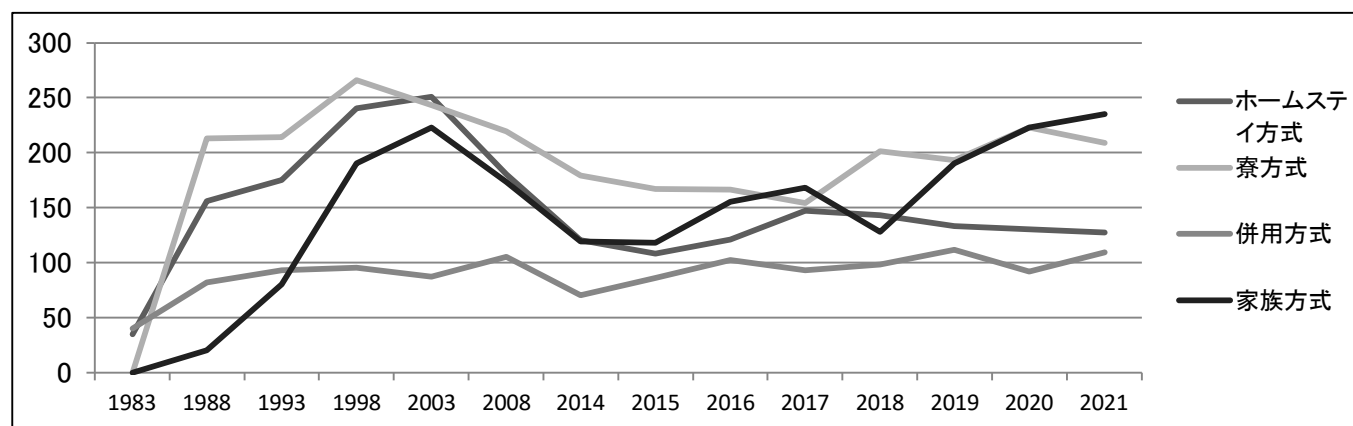
▽受け入れ地域別に見た参加者数の推移

	1983	1988	1993	1998	2003	2008	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
北海道	0	23	93	195	179	151	75	70	67	63	63	61	60	64
東北	0	69	46	34	18	14	1	3	15	1	4	3	0	0
関東	0	3	25	52	60	29	14	14	40	7	37	30	31	34
中部	56	163	160	231	163	127	109	145	122	197	141	184	197	214
近畿	19	148	96	82	61	62	34	27	53	15	25	23	8	12
中国	0	33	30	28	22	32	29	28	29	30	37	46	44	38
四国	0	17	50	47	74	69	53	57	59	52	54	46	50	43
九州沖縄	0	15	62	122	227	193	173	135	159	197	209	235	278	275
合計	75	471	562	791	804	677	488	479	544	562	570	628	668	680



▽居住形態別に見た参加者数の推移

	1983	1988	1993	1998	2003	2008	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
ホームステイ方式	35	156	175	240	251	180	120	108	121	147	143	133	130	127
寮方式	0	213	214	266	243	219	179	167	166	154	201	193	223	209
併用方式	40	82	93	95	87	105	70	86	102	93	98	112	92	109
家族方式	0	20	80	190	223	173	119	118	155	168	128	190	223	235
合計	75	471	562	791	804	677	488	479	544	562	570	628	668	680



2021年度版 全国の山村留学実態調査報告書

2022年7月

編集発行：NPO法人全国山村留学協会

〒180-0006

東京都武蔵野市中町1-6-7-5F tel:0422-56-0595 fax:0422-56-0351

info@sanryukyo.net

<http://www.sanryukyo.net>